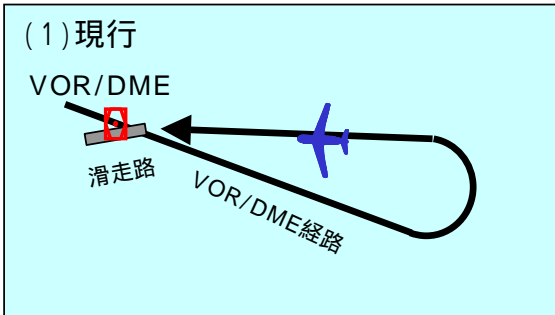


GPSを補助的に使用した進入方式(非精密進入)

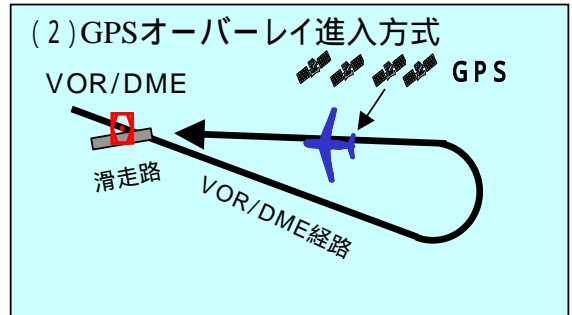
(参考)

導入効果

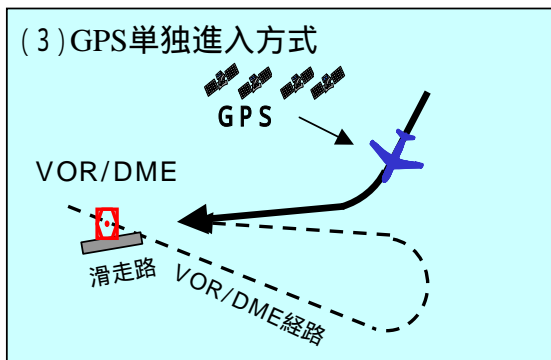
- ・進入ルートの短縮化・運航の効率化[GPS単独進入方式]
- ・将来のGNSS運航方式の導入に向けた環境整備
(GPS装置に対する運航者の習熟・訓練を含む)



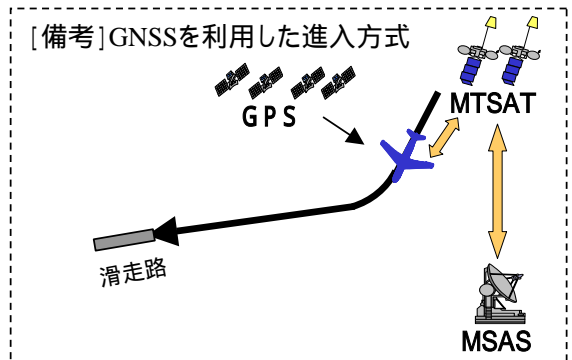
既存施設(VOR/DME等)により設定された経路を計器進入。



既存施設(VOR/DME等)により設定された現行の経路を、GPSから得られる位置情報を参考にしつつ計器進入。



既存施設(VOR/DME等)により設定された経路とは異なる経路を、GPSから得られる位置情報を参考にしつつ計器進入。



GPSとその補強システム(MSAS)から得られる位置情報等を利用して計器進入。
将来のGNSS運航方式に対応するもの。

参考

GPS(Global Positioning System:全地球的測位システム):
アメリカ合衆国防総省により運用される人工衛星を使用した測位システム。

VOR/DME(VHF Omni-directional Radio Range/Distance Measuring Equipment:超短波全方向性無線標識施設/距離情報提供装置):
超短波無線を使用して、航空機に方位と距離情報を提供する施設。これにより航空機は、自機の正確な位置が把握できるため、航空路等のルートを飛行できる。

MSAS(MTSAT Satellite Based Augmentation System:運輸多目的衛星用衛星航法補強システム):
GPSから測位情報を受信して航行しようとする航空機に対し、GPSの精度や信頼性を向上させるための補強情報を運輸多目的衛星(MTSAT)を中継して提供するためのシステム。

GNSS(Global Navigation Satellite System:全地球的航法衛星システム):
人工衛星を用いて全地球的に利用することが可能な航法のための測位システム。GPS等の衛星測位システム、MSAS等の補強システム及びそれらの受信機から構成される。